

道内の感染状況等について

【令和3年7月29日】

主な指標の状況

	医療提供体制等の負荷			監視体制	感染状況		
	病床全体	うち重症者用病床	療養者数	検査陽性率	新規感染者数	先週1週間との比較	感染経路不明割合
全道 (7/28)	395床 ↑	5床 ↓	1241人 ↑	5.8% ↑	952人/週 (17.9人) ↑	1.43 ↑	49.5% ↓
うち札幌市内	224床 ↑	4床 →	828人 ↑	7.1% ↑	642人/週 (32.8人) ↑	1.28 ↑	50.9% ↓
道ステージ4基準 (国ステージⅢ)	350床	35床	796人	10%	796人/週 (15.0人)	増加	50%
道ステージ3基準	250床	25床	増加	増加	133人/週 (2.5人)	増加	50%

※()は10万人あたりの新規感染者数 ※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

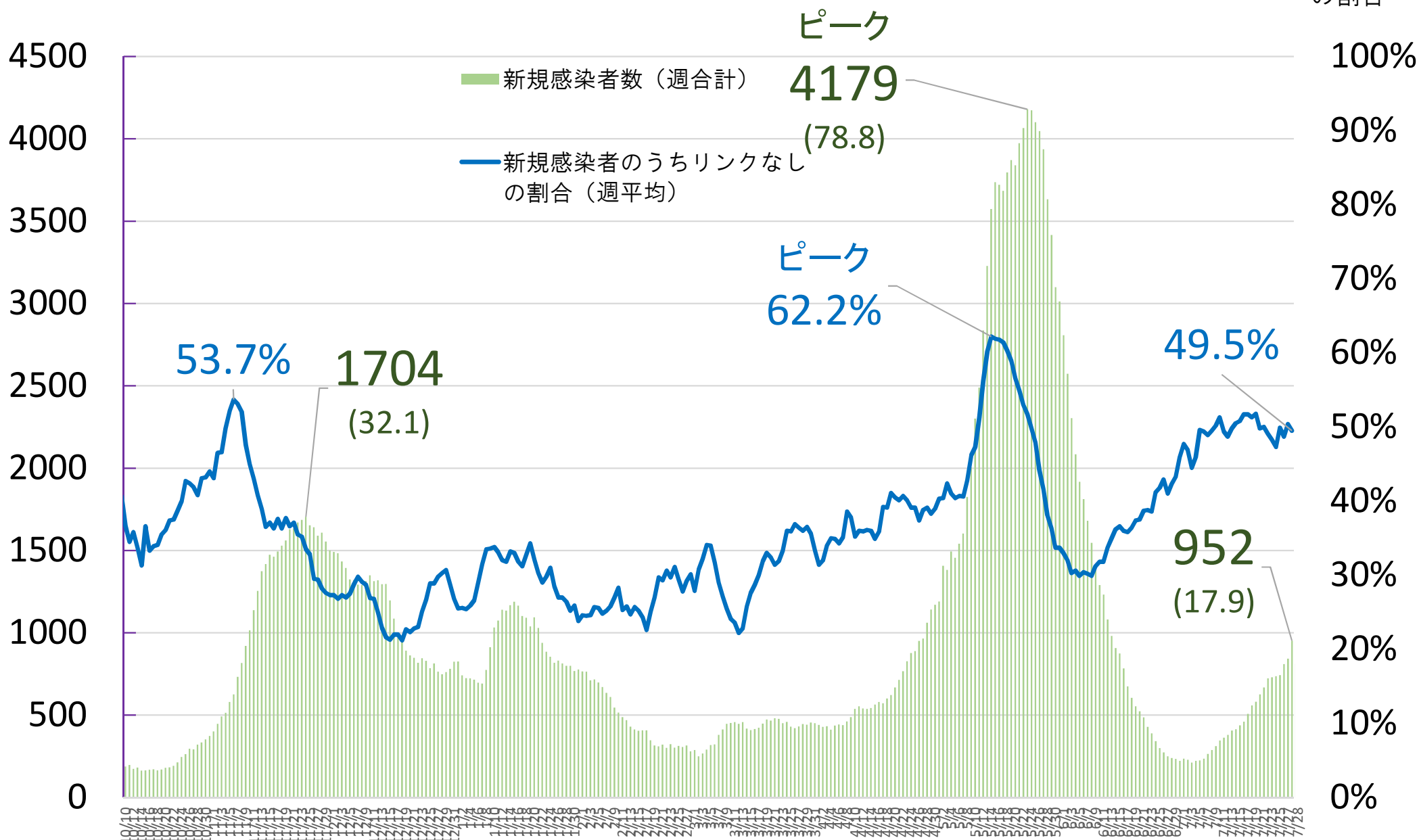
国の分科会提言で示された新たな指標

	医療提供体制等の負荷			監視体制	感染の状況		
	①医療の逼迫具合			②療養者数	③PCR陽性率	④新規陽性者数	⑤感染経路不明割合
	入院医療		重症者用病床				
全道 (7/28)	確保病床の使用率 19.8%	入院率 31.8%	確保病床の使用率 3.4%	23.4人	5.8%	17.9人	49.5%
うち 札幌市内	37.1%	27.1%	7.0%	42.3人	7.1%	32.8人	50.9%
国 ステージⅣの 指標	確保病床の使用率 50%以上	入院率 25%以下	確保病床の使用率 50%以上	30人 /10万人以上	10%以上	25人 /10万人/週以上	50% 以上
国 ステージⅢの 指標	確保病床の使用率 20%以上	入院率 40%以下	確保病床の使用率 20%以上	20人 /10万人以上	5%以上	15人 /10万人/週以上	50% 以上

感染状況(全道)

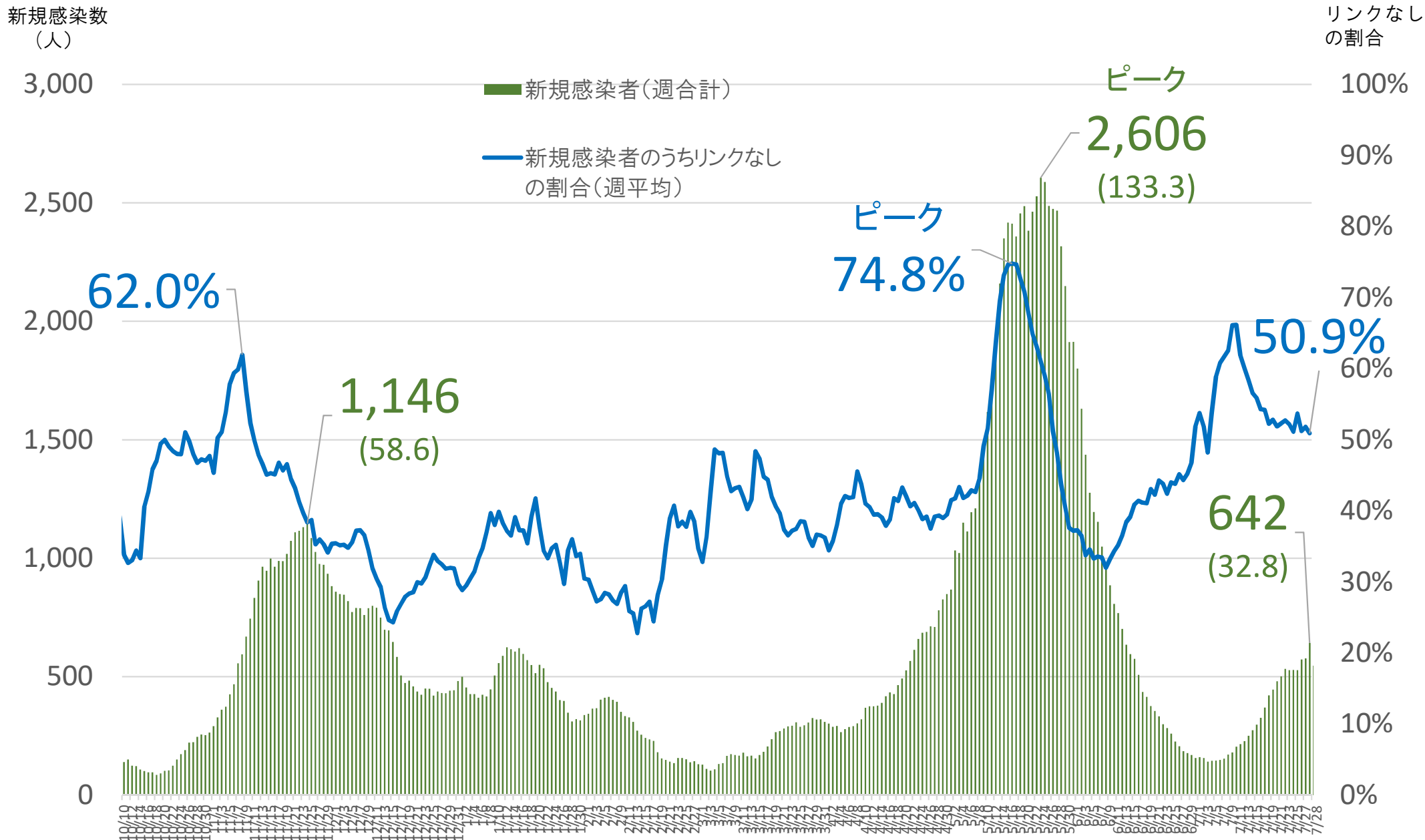
新規感染数(人)

リンクなしの割合

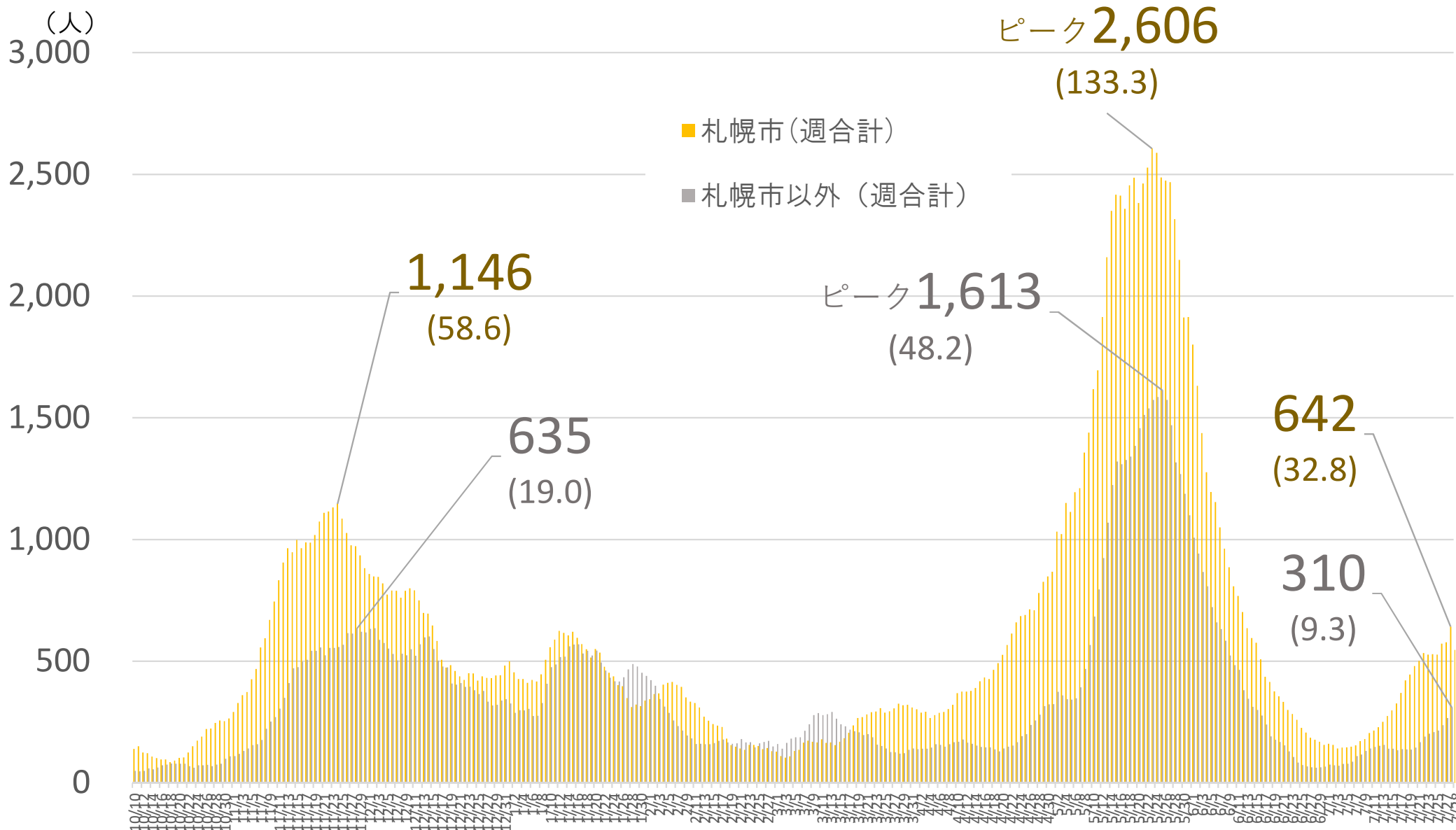


()は10万人当たり人数

札幌市の感染状況



新規感染者数(札幌市／札幌市以外)



()は10万人当たり人数

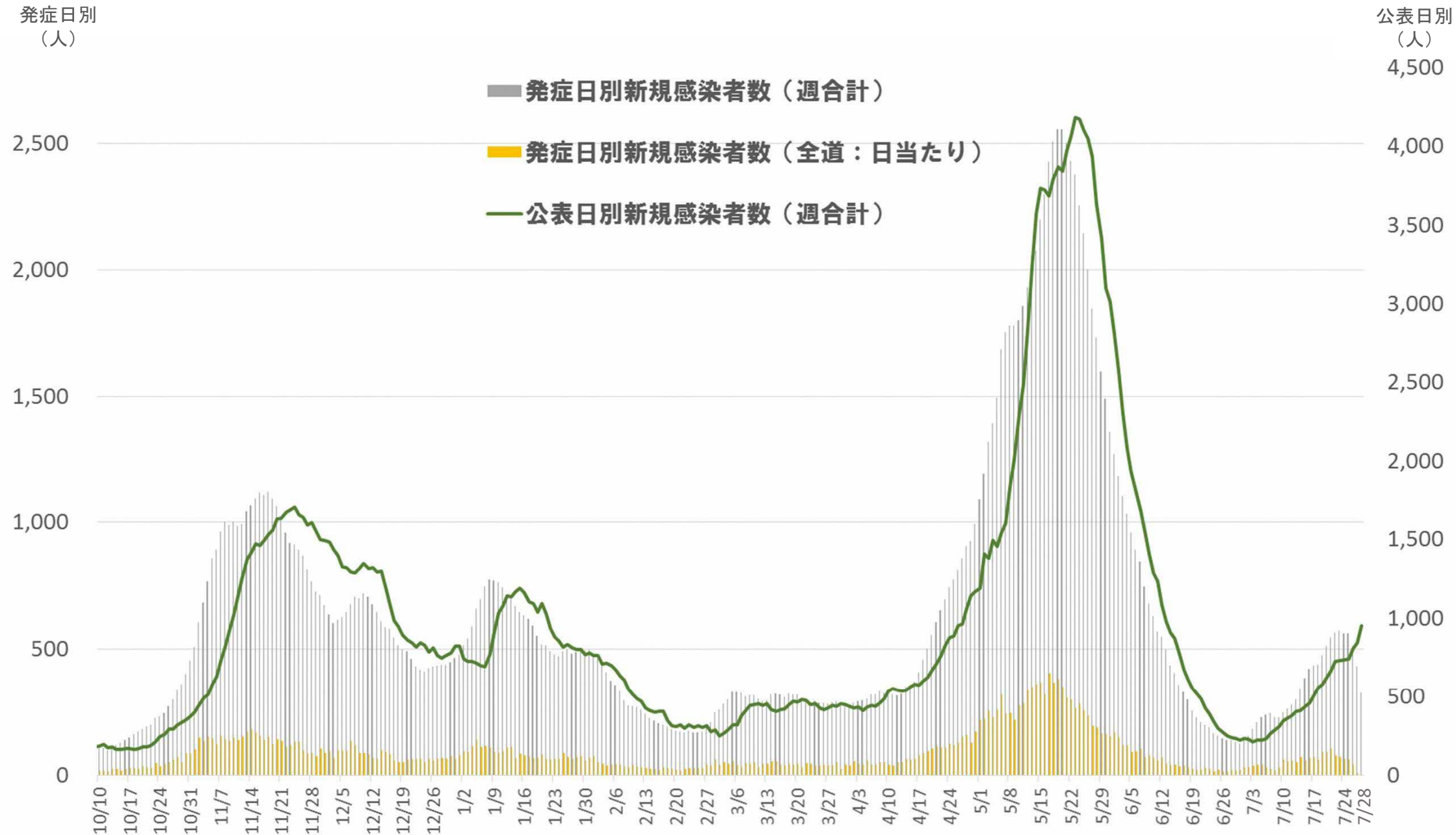
※7日間合計で集計。「札幌市」には、札幌市が居住地非公表として発表した者並びに札幌市以外が札幌市居住として発表した者及び居住地を「その他」として発表した者のうち札幌市居住である者を含む。

地域別の感染状況

	空知	石狩 (札幌除く)	札幌市	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	道外	合計
7/15 ～ 7/21	3	24	501	10	29	1	7	0	25	0	1	52	7	4	2	2	668
7/22 ～ 7/28	8	57	642	18	40	0	26	1	30	1	1	81	14	20	0	13	952

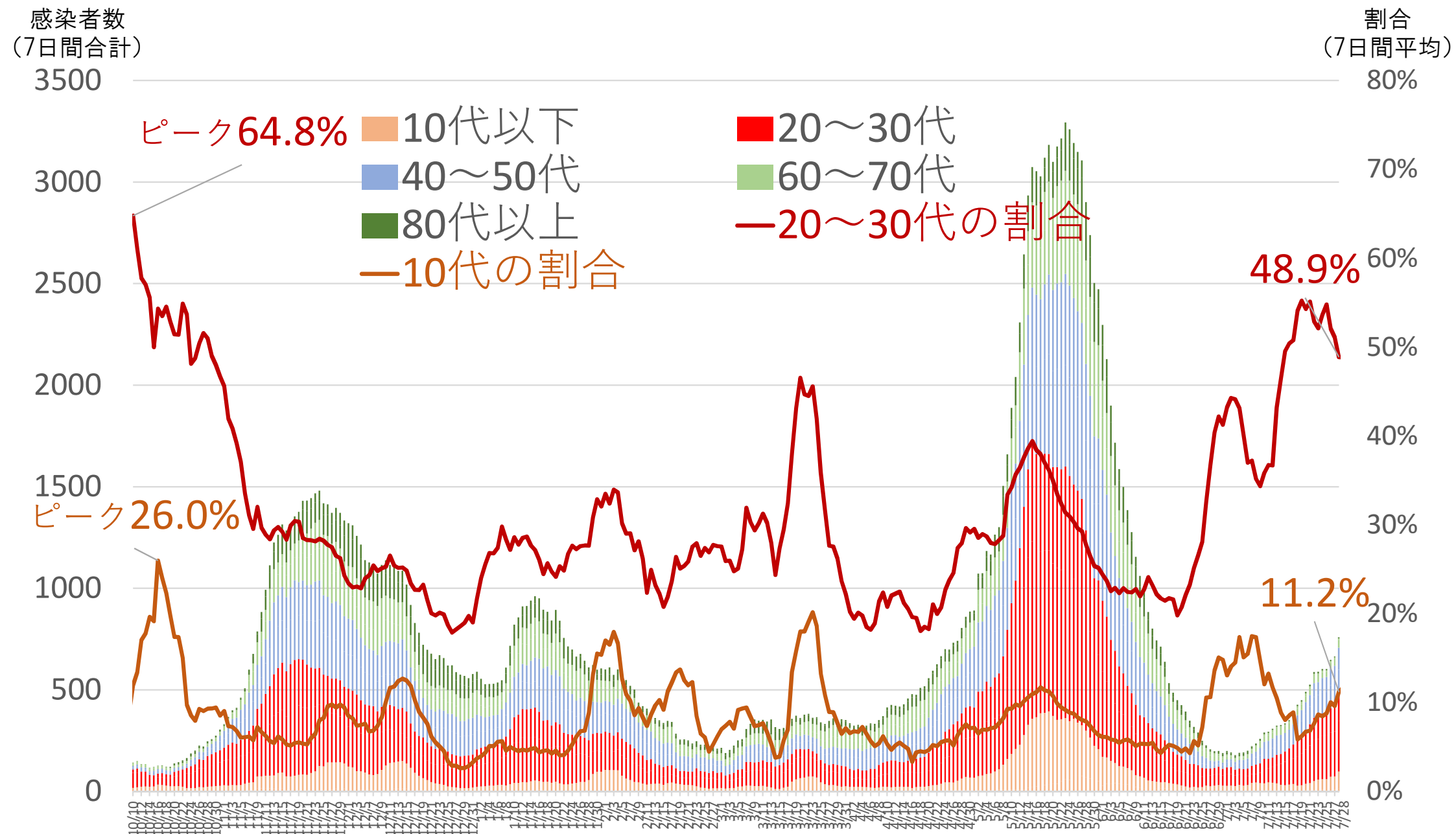
※「居住地」により整理。なお、居住地非公表として発表した者等は、各振興局等に含めて計上。

発症日別～公表日別の新規感染者数(全道)



※発症日別新規感染者数については、調査に時間を要するため、数日前のデータとなる。
※無症状者及び発症日不明者があるため、発症日別と公表日別の公表人数が異なる。

年代別感染者数の推移(全道)



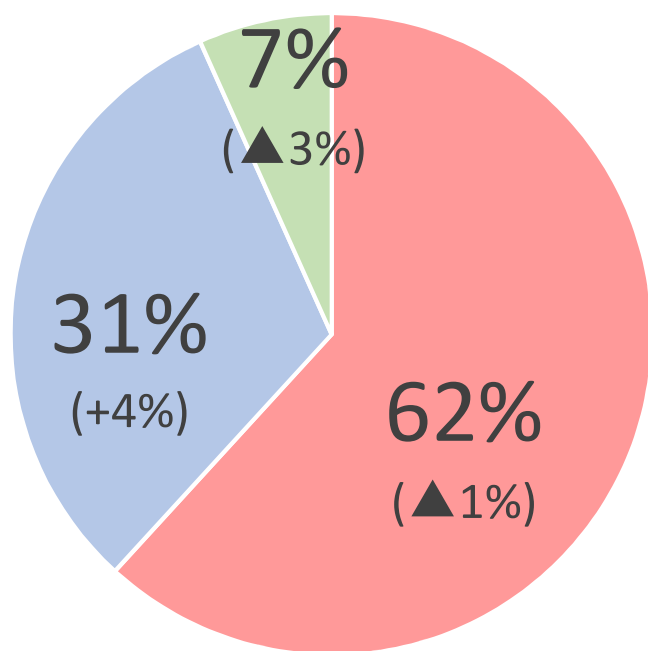
(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

年代別新規感染者の割合

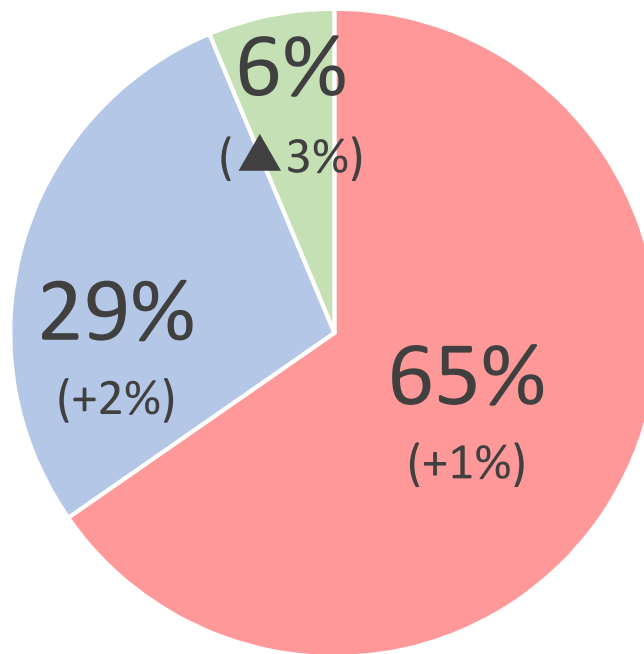
7日間合計（7 / 22～28）

■ 30代以下 ■ 40～50代 ■ 60代以上

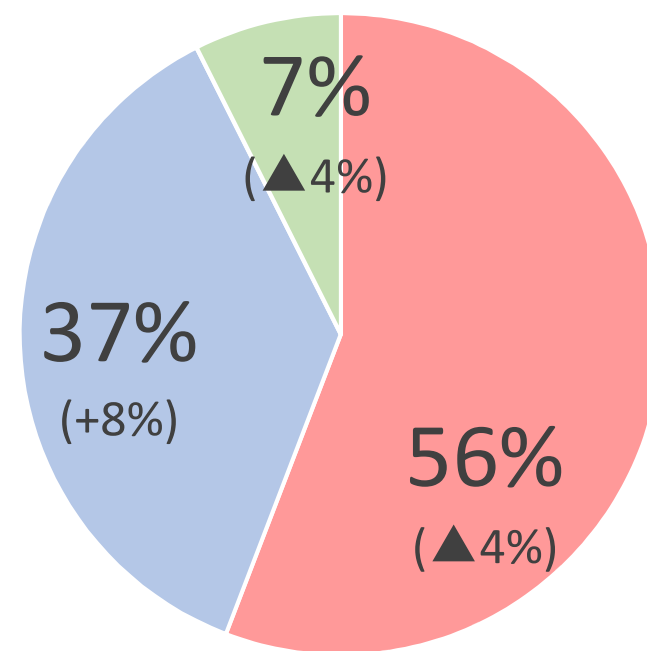
全道



札幌市



札幌市以外



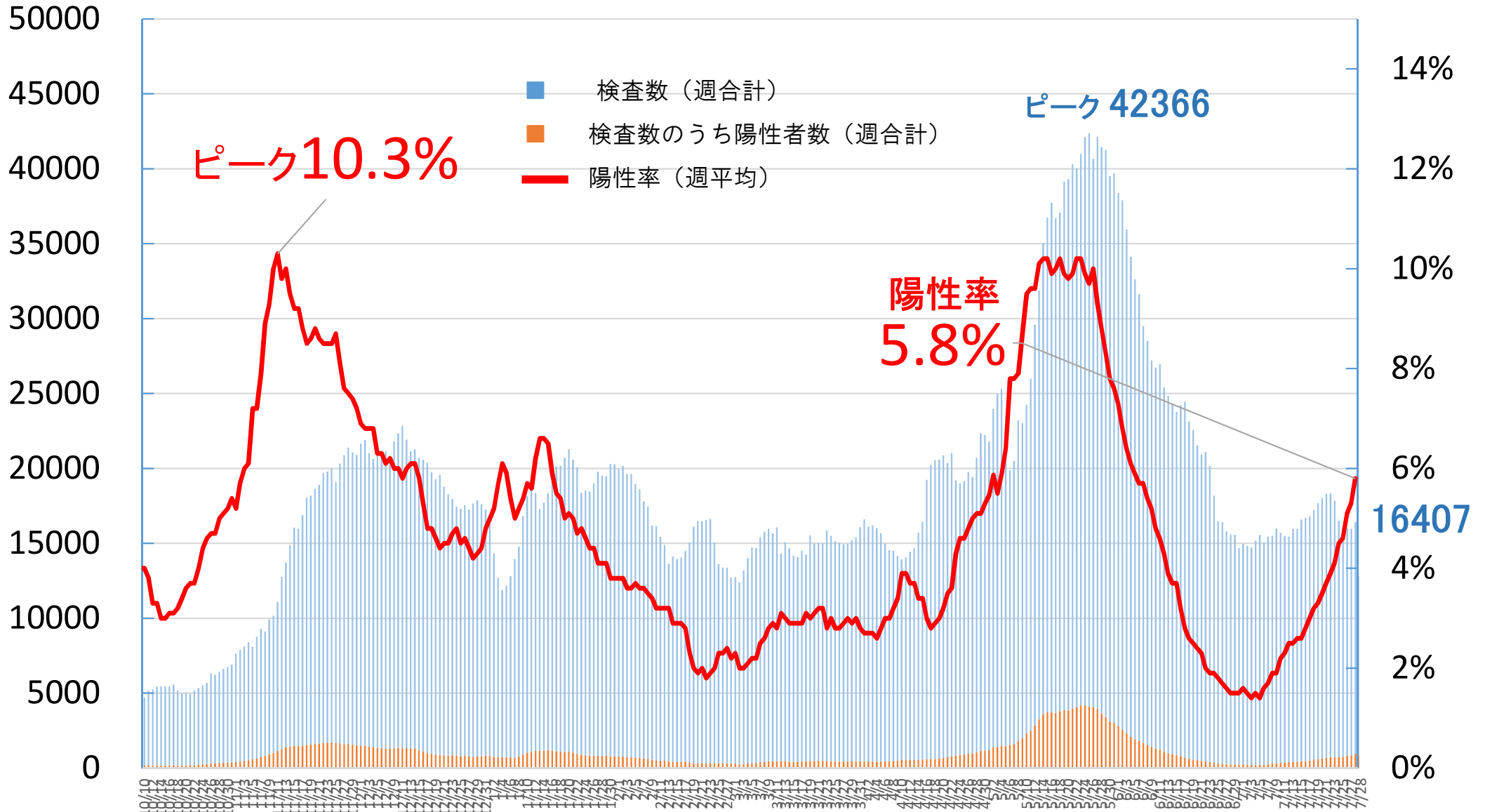
()内の数値は、先週(7/21)からの増減値

(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

監視体制(陽性率と検査数)(全道)

検査数 (人)

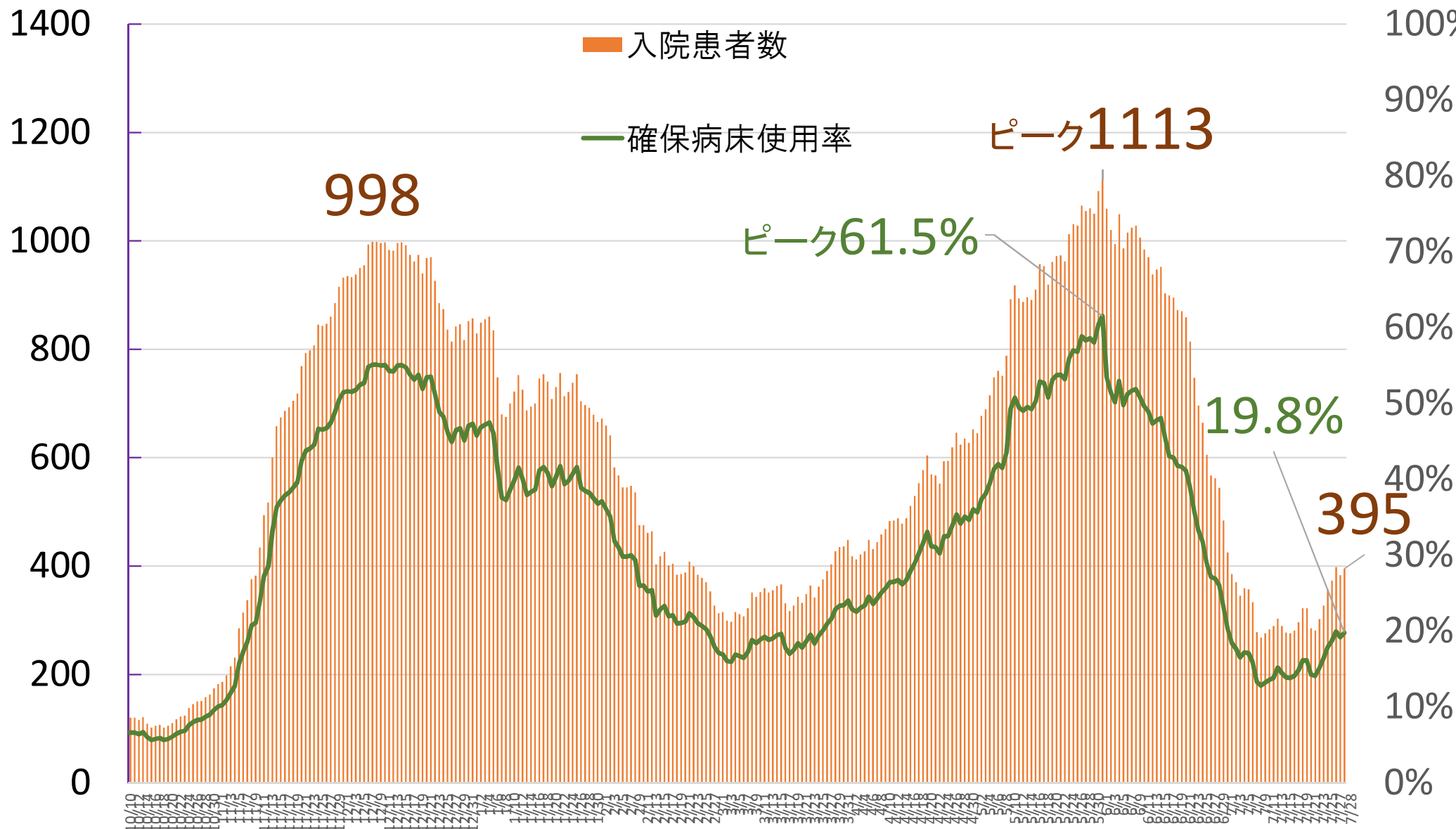
陽性率



医療提供体制等の負荷(病床全体)(全道)

入院患者数 (人)

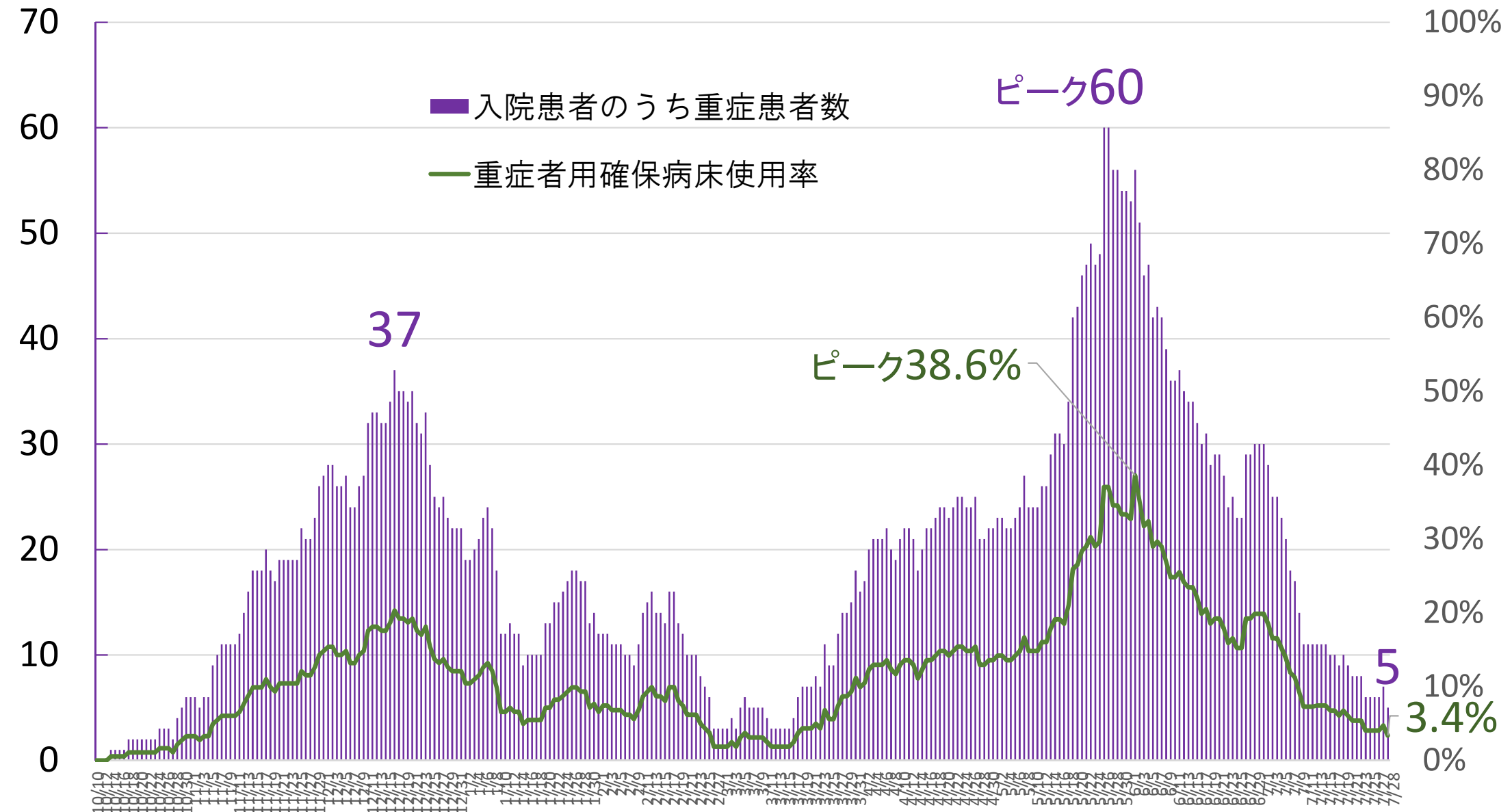
病床使用率



医療提供体制等の負荷(重症者用病床)(全道)

入院患者数 (人)

病床使用率



集団感染の発生状況(全道)

	3月	4月	5月	6月	7月 (7/1~28)
医療施設 福祉施設	14件 (294人)	23件 (512人)	86件 (1899人)	22件 (220人)	4件 (44人)
事業所等	9件 (110人)	9件 (81人)	36件 (605人)	26件 (260人)	14件 (109人)
飲食店等	8件 (96人)	14件 (102人)	13件 (134人)	2件 (16人)	9件 (67人)
学校	5件 (84人)	7件 (113人)	23件 (234人)	9件 (89人)	6件 (113人)
合 計	36件 (584人)	53件 (808人)	158件 (2872人)	59件 (585人)	33件 (333人)

※「飲食店等」には、接待を伴うもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

集団感染の発生状況(札幌市／札幌以外)

	7/8~14		7/15~21		7/22~28	
	札幌市	札幌以外	札幌市	札幌以外	札幌市	札幌以外
医療施設 福祉施設	—	—	2件 (19人)	—	2件 (25人)	—
事業所等	4件 (30人)	1件 (6人)	4件 (37人)	—	2件 (17人)	1件 (5人)
飲食店等	—	1件 (9人)	—	2件 (11人)	1件 (6人)	5件 (41人)
学校	—	1件 (14人)	2件 (18人)	—	1件 (47人)	—
合 計	4件 (30人)	3件 (29人)	8件 (74人)	2件 (11人)	6件 (95人)	6件 (46人)

※「飲食店等」には、接待を伴うもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

1 ワクチン接種状況について(7/27現在)

区分	1回目		2回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率
北海道	1,740,920	33.0%	1,134,495	21.5%
うち65歳以上	1,333,010	80.5%	1,006,519	60.8%
(参考) 全国	41,091,427	32.3%	27,735,799	21.8%
うち65歳以上	30,146,315	85.0%	24,835,699	70.0%

※接種率は令和2年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合(医療従事者等の接種回数は含まない。全国の数値は国の「ワクチン接種状況ダッシュボード」による)。なお、上記はVRSの入力値に基づくものであり、実際の接種率より低い場合があることに留意。

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

2 高齢者(65歳以上)向け接種について

※道内高齢者人口区分別接種状況

高齢者人口区分 (市町村別)	市町村数	高齢者 人口(人)	接種率		
			7/27時点		7/18時点比 (1回目)
			1回目	2回目	
10万人以上	2	644,873	72.4%	47.9%	+ 8.1 pt
5万人以上	2	146,108	83.7%	64.6%	+ 3.0 pt
3万人以上	6	249,767	83.2%	62.2%	+ 6.0 pt
1万人以上	12	200,028	86.3%	68.6%	+ 3.3 pt
5千人以上	23	165,833	85.4%	68.1%	+ 3.7 pt
3千人以上	21	79,529	88.2%	79.5%	+ 3.3 pt
1千人以上	85	151,058	89.2%	78.3%	+ 0.8 pt
1千人未満	28	19,151	88.4%	84.3%	+ 0.2 pt

※VRSの入力値に基づくものであり、実際の接種率より低い場合があることに留意。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

3 一般接種(高齢者向け接種含む)の状況

- 65歳以上の高齢者への接種は、7月27日現在、1回目80.5%、2回目60.8%が終了。VRSへ実績が反映されるまで一定の時間を要することを踏まえると、現時点で正確な状況を把握することは難しいが、多くの市町村で1回目接種率80%を超えるなど、概ね順調に進捗。

引き続き、重症化リスクの高い高齢者の方々に、一日も早くワクチン接種を受けていただくため、市町村が行う集団接種に対する支援に加え、医療機関において実施される個別接種や集団接種に係る働きかけにも取り組む。

- 道医師会や札幌大等と連携・協力の下、札幌圏に6月19日から8月13日(予定)までの間、道直営の集団接種会場「北海道ワクチン接種センター」を設置。現在、2回目接種を順次実施中。

[7月16日までの接種状況(1回目接種終了)]

接種回数 19,601回(うち対象自治体(5市1町)分 17,735回、その他1,866回)

- 一般接種の本格化に向け、市町村における接種計画の円滑な策定に資するよう、道において、産業形態、感染リスク、年齢階層区分など、地域の実情に応じた接種順位決定の参考となる考え方を整理し、7月21日に各市町村・関係団体等へ通知。

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

4 職域接種及び大学拠点接種の状況

- 道内においても、職域接種及び大学拠点接種が進捗。
8月9日週以降の接種開始分について国の承認作業が再開され、国と企業等による申請内容の精査や申請取り下げにより、7月28日17時現在の申請数は200件(うち国承認済75件)、申請ベースで、職域接種予定者は約51万人。
なお、業種別の申請件数は下表のとおり。

(単位：会場数)

国申請受付数 (※)	うち 北海道分	医療・福祉 (薬局含む)	運輸・流通	製造・ 小売・ メーカー等	観光	情報通信	金融・保険	建設	国機関 ・自治体	各種団体 その他	大学拠点接種
		5,202	200	20	8	41	12	11	6	14	9

(※) 国申請受付数は、受付が一時休止された6/25時点

- 職域接種については、引き続き、国や道内企業の動向についての情報収集のほか、会場所在市町村への情報提供に加え、北海道経済産業局や6月に道が設立した「経済関係団体感染症対策連携会議」とも連携し、各経済団体やその構成団体を通じた情報共有、道ホームページによる情報提供に努めている。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

5 ワクチンの供給状況(単位:箱数)

○ファイザー社製ワクチンの供給については漸減傾向にあり、7/26に国から示された第12クールでも、前クールを若干下回る配分結果となった。
 国は、第15クールまでに、対象となる12歳以上の8割が2回接種するのに必要な量を供給するとしているが、具体的な配分スケジュールについては現時点では不明。

ファイザー社製 ワクチン	第1～9 クール (4/5～7/18)	第10 クール (7/19～8/1)	第11 クール (8/2～8/15)	第12 クール (8/16～8/29)	計	第13-15 クール (8/30～10/3)
全国配分	78,241	10,600	10,000	10,000	108,841	未定 <small>※国は、各市町村における職域接種の状況等を考慮した配分も検討</small>
道内市町村 希望量 A	4,200	1,041	982	923	7,146	
道への配分 B	3,433	372	436	381	4,622	
充足率 B/A	81.7%	35.7%	44.4%	41.3%	64.7%	

※上記のほか、大規模接種会場及び職域接種にモデルナ社製ワクチンが配分されている。

【参考】12歳以上の接種対象人口に対する供給状況(ファイザー社製分のみ・第12クールまで、単位:市町村数)

100%以上: 47、100%未満90%以上: 27、90%未満80%以上: 41

デルタ株の検査状況

期 間	スクリーニング 検査数	デルタ株 疑い事例	スクリーニング 検査陽性率(※)
-----	----------------	--------------	---------------------

7/8~14

320

84
(44)

27.7%

7/15~21

496

143
(115)

30.5%

7/22~28

707

224
(166)

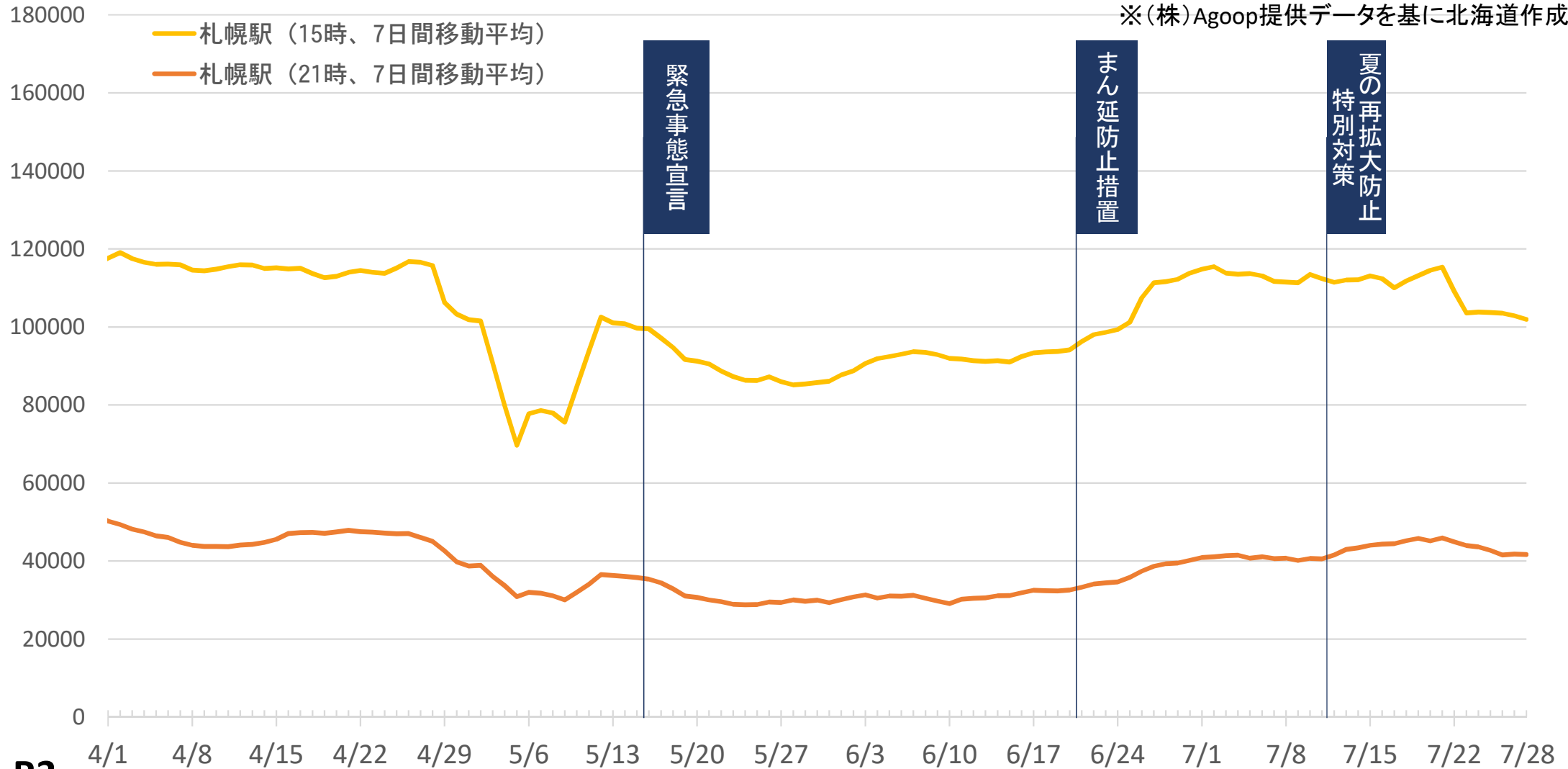
32.5%

※スクリーニング検査数から検出不能な検体数を除いて陽性率を算出

※()は、うち札幌市の事例数

札幌駅周辺の人出

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



R3

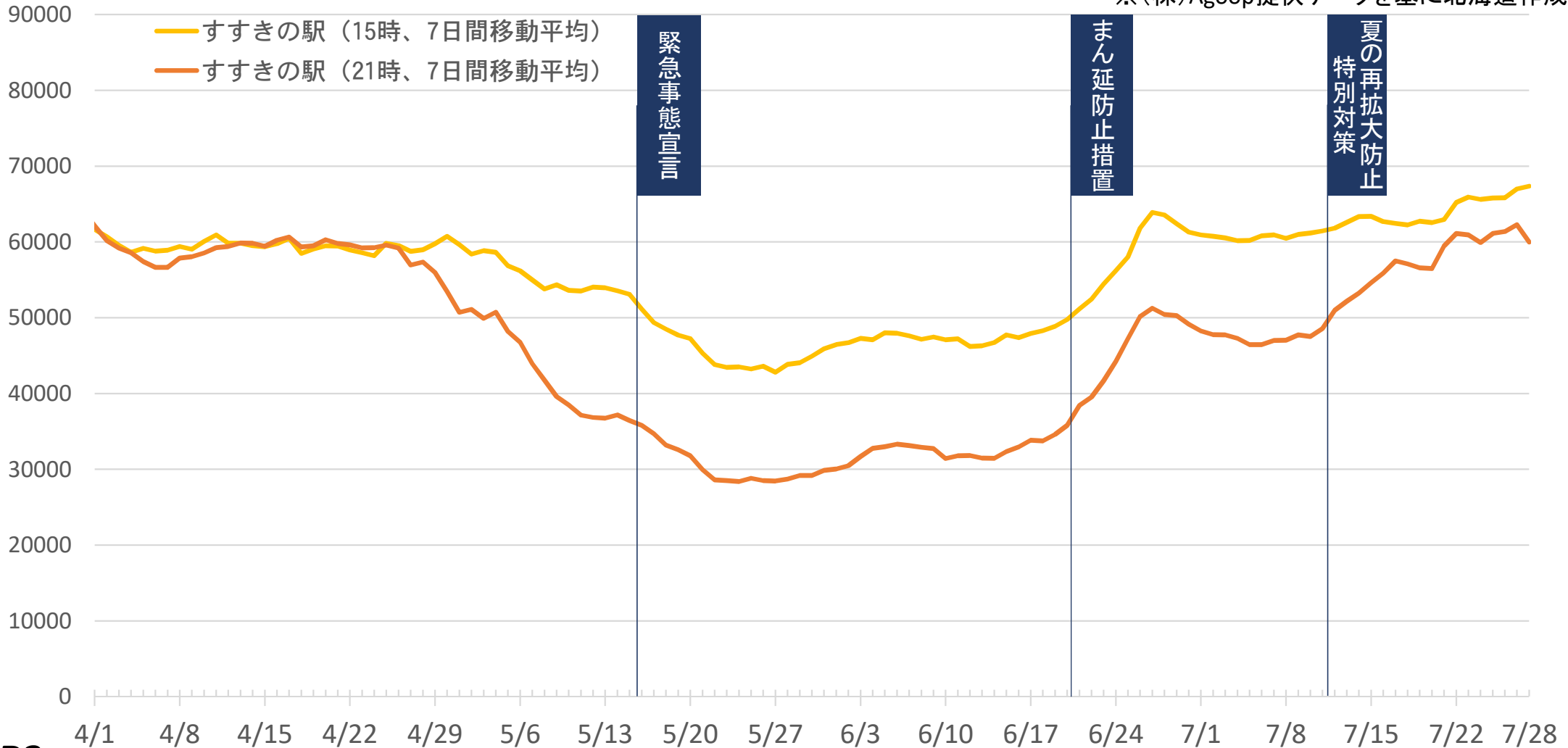
① 緊急事態宣言前との比較 (人)			
	R3.5.15	R3.7.28	(5/15比)
15時	99,695	101,900	(+2.2%)
21時	35,752	41,668	(+16.5%)

② まん延防止等重点措置前との比較 (人)			
	R3.6.20	R3.7.28	(6/20比)
15時	94,138	101,900	(+8.2%)
21時	32,540	41,668	(+28.1%)

③ 夏の再拡大防止特別対策前との比較 (人)			
	R3.7.11	R3.7.28	(7/11比)
15時	112,410	101,900	(▲9.3%)
21時	40,509	41,668	(+2.9%)

すすきの駅周辺の人出

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



R3

① 緊急事態宣言前との比較 (人)			
	R3.5.15	R3.7.28	(5/15比)
15時	53,101	67,350	(+26.8%)
21時	36,440	59,976	(+64.6%)

② まん延防止等重点措置前との比較 (人)			
	R3.6.20	R3.7.28	(6/20比)
15時	49,760	67,350	(+35.3%)
21時	35,791	59,976	(+67.6%)

③ 夏の再拡大防止特別対策前との比較 (人)			
	R3.7.11	R3.7.28	(7/11比)
15時	61,453	67,350	(+9.6%)
21時	48,548	59,976	(+23.5%)

最近の感染状況等について①

【感染状況】

- 全道の新規感染者数は、先週比で23日間連続で増加している。
- 特に札幌市においては、人口10万人当たり30人を超え、全道の約70%を占めて全体の感染者数を押し上げている。感染経路不明割合も高い水準にあり、本人の気づかないところで感染する見えない感染の連鎖が起き、市中での感染が広がっている状況。
- 札幌市以外においても、新規感染者数が増加している地域が見られ、特にオホーツク管内では、複数の飲食店での集団感染の影響により新規感染者数が増加している。

【デルタ株】

- 検査数の約30%がデルタ株となるなど増加が続いている。また、直近一週間では、約70%が札幌市に集中している。

【医療提供体制】

- 入院患者数、療養者数は、増加が続いている。札幌市内においては、フェーズ3相当での病床を確保し、対応しているものの、病床使用率は既に30%を超えている。

【ワクチン】

- 道内における接種率は、7月27日現在、1回目33.0%、2回目21.5%。このうち、65歳以上の高齢者への接種は、1回目80.5%、2回目60.8%が終了した。

最近の感染状況等について②

【今後の対策】

- 札幌市内においては、できる限り外出を控えることなど、引き続き、対策の徹底を図る。まん延防止等重点措置については、7月20日及び26日に、国に対し、文書で要請を行ったところであり、引き続き、早期の実施に向けて協議を進める。
- 全道においては、札幌市の感染拡大が全道へ波及することを防ぐために、同市との不要不急の往来を控えることについて一層の徹底を図る。また、飲食を伴う場面での感染防止行動の徹底を図るとともに、集団感染への迅速な対応に引き続き取り組む。
- 来道を検討されている方に対し、国が羽田空港等で実施する搭乗前モニタリング検査の積極的な活用など、体調管理や感染防止対策の徹底を強く働きかける。
- ワクチン接種については、国のアドバイザリーボード等において発症予防、重症化予防とともに、感染予防効果を示唆する報告もあり、引き続き、供給スケジュール等について国から情報収集しながら、市町村へのきめ細かな支援を行うなど、希望する方が一日も早くワクチン接種を終えることができるよう取り組む。

まん延防止等重点措置の公示に関する要請

感染症第1593号
令和3年7月20日

政府対策本部長
内閣総理大臣 菅 義偉 様

北海道対策本部長
北海道知事 鈴木 直 道

新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づくまん延防止等
重点措置の公示に関する要請について

北海道においては、これまで道民に対して外出・往来の自粛や営業時間の短縮など新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく協力要請を行い、感染拡大の防止に全力で取り組んでまいりました。

しかし、本道の中心都市である札幌市においては、デルタ株の確認が急速に増加する中、新規感染者数が急増しており、全道の感染拡大につながるおそれがあります。また、入院患者数も増加しており、このまま新規感染者が増加した場合には、医療提供体制がひっ迫するおそれもあります。

このような状況を踏まえると、道と国がより一層連携し、さらなる集中的な感染防止対策を取ることが必要であることから、本道を新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づくまん延防止等重点措置を実施すべき区域として公示されるよう、同法第31条の4第6項に基づき要請いたします。

本道における感染のまん延を防ぐため、新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律案に対する附帯決議も踏まえ、速やかにご検討いただくようお願いいたします。

感染症第1626号
令和3年7月26日

政府対策本部長
内閣総理大臣 菅 義偉 様

北海道対策本部長
北海道知事 鈴木 直 道

新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づくまん延防止等
重点措置の公示に関する要請について

北海道では、令和3年7月20日に新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づくまん延防止等重点措置の公示に関する要請を行ったところですが、直近の道内の感染状況は、札幌市では新規感染者数が先週比で18日連続増加が続いており、この4連休については医療機関は通常の体制ではなく、検査数も減少している中、同月21日以降、国のステージⅣの水準となる人口10万人当たり25人を超え、昨日は27人となったところです。

また連休中も、人流は減少しておらず、通常連休明けには新規感染者数は増加する傾向があることから、今後、連休の人の動きの影響による感染拡大への警戒が必要となっています。

全道の新規感染者数は、札幌市が全体の7割を占め、人口10万人当たり14人と国のステージⅢの水準に近づいており、これまでは、札幌市の感染拡大が遅れて全道にまん延してきたことから、全道へまん延する前に早期に札幌市の拡大を抑え込んでいく必要があると考えています。

特に、デルタ株の急速な増加には危機感をもっており、現在、検査の約4割がデルタ株となり、全体の7割が札幌に集中しているところです。

こうした状況への対応として、道独自の措置では、制度上も財源的にも実効性を確保できないことから、国においては、国会の附帯決議の趣旨を踏まえ、まん延防止等重点措置を早期に実施いただくよう、改めてお願い申し上げます。